

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年8月13日

【四半期会計期間】 第128期第2四半期
(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

【会社名】 京葉瓦斯株式会社

【英訳名】 KEIYO GAS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 湯山英清

【本店の所在の場所】 千葉県市川市市川南二丁目8番8号

【電話番号】 047 361 0211

【事務連絡者氏名】 経理部長 江口 孝

【最寄りの連絡場所】 千葉県市川市市川南二丁目8番8号

【電話番号】 047 361 0211

【事務連絡者氏名】 経理部長 江口 孝

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第127期 第2四半期 連結累計期間	第128期 第2四半期 連結累計期間	第127期
会計期間		自平成23年1月1日 至平成23年6月30日	自平成24年1月1日 至平成24年6月30日	自平成23年1月1日 至平成23年12月31日
売上高	(百万円)	44,835	51,948	81,420
経常利益	(百万円)	5,106	5,587	3,790
四半期(当期)純利益	(百万円)	1,761	3,312	704
四半期包括利益又は 包括利益	(百万円)	2,157	3,726	594
純資産額	(百万円)	52,885	54,550	51,076
総資産額	(百万円)	94,807	96,403	93,619
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	32.82	61.72	13.12
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	54.0	54.8	52.8
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	9,713	10,351	11,197
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	5,046	4,133	10,710
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	1,939	740	1,980
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	8,549	9,803	4,327

回次		第127期 第2四半期 連結会計期間	第128期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日
1株当たり四半期 純利益金額	(円)	11.07	20.50

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していない。

2 売上高には、消費税等は含まれていない。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

4 第127期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理している。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はない。また、主要な関係会社についても異動はない。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はない。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等を行われていない。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものである。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間の売上高は、ガス販売量の増加によりガス売上高が増加したことなどから、前年同期に比べ15.9%増加の51,948百万円となった。この結果、営業利益は前年同期に比べ7.9%増加の5,544百万円、経常利益は前年同期に比べ9.4%増加の5,587百万円となった。四半期純利益は、特別損失がなくなったこともあり前年同期に比べ88.0%増加の3,312百万円となった。

なお、当社グループの業績は、ガス事業のウエイトが高く、売上高が冬季(1～3月)に多く計上されるため、業績に季節的変動がある。

セグメント別の業績は次のとおりである。

ガス

当第2四半期連結累計期間のガス販売量は、家庭用については、気温水温が低めに推移した影響により前年同期に比べ3.9%増加の210,360千 m^3 となった。業務用については、商業用などの空調需要が増加したことにより前年同期に比べ4.3%増加の183,639千 m^3 となった。この結果、ガス販売量合計では、前年同期に比べ4.1%増加の393,999千 m^3 となった。ガス売上高については、ガス販売量の増加などにより前年同期に比べ13.7%増加の45,615百万円となった。

営業費用については、原材料費の増加などにより前年同期に比べ15.0%増加の38,646百万円となった結果、セグメント利益は前年同期に比べ6.7%増加の6,968百万円となった。

不動産

不動産事業の売上高は、前年同期に比べ1.7%増加の687百万円となった。営業費用については、前年同期に比べ11.8%減少の345百万円となった結果、セグメント利益は前年同期に比べ20.5%増加の341百万円となった。

その他

ガス工事・ガス機器販売等その他の売上高は、前年同期に比べ34.0%増加の6,378百万円となった。営業費用については、前年同期に比べ33.3%増加の6,177百万円となった結果、セグメント利益は前年同期に比べ58.8%増加の200百万円となった。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下資金という)は、営業活動により獲得した資金を有形及び無形固定資産の取得等に振り向けた結果、前連結会計年度末に比べ5,476百万円増加の9,803百万円となった。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益が増益となったことなどにより、当第2四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は前年同期と比べ637百万円増加の10,351百万円となった。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形及び無形固定資産の取得による支出が減少したことなどにより、当第2四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は前年同期と比べ912百万円減少の4,133百万円となった。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入れによる収入が増加したことなどにより、当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期と比べ1,198百万円支出減少の740百万円のマイナスとなった。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はない。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発費は6百万円である。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はない。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月13日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	54,675,000	54,675,000	東京証券取引所(市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	54,675,000	54,675,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項なし。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項なし。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日		54,675,000		2,754		36

(6) 【大株主の状況】

平成24年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社南悠商社	東京都港区虎ノ門4 - 1 - 35	16,500	30.18
株式会社ケイハイ	千葉県船橋市南海神1 - 7 - 1	4,192	7.67
株式会社損害保険ジャパン	東京都新宿区西新宿1 - 26 - 1	3,545	6.48
京葉住設株式会社	千葉県市川市市川南4 - 2 - 11	3,000	5.49
株式会社千葉興業銀行	千葉県千葉市美浜区幸町2 - 1 - 2	2,700	4.94
かもめガス株式会社	千葉県船橋市日の出1 - 18 - 4	1,740	3.18
京葉プラントエンジニアリング株式会社	千葉県市川市市川南2 - 8 - 8	1,543	2.82
京葉瓦斯従業員持株会	千葉県市川市市川南2 - 8 - 8	1,088	1.99
株式会社みずほコーポレート銀行	東京都千代田区丸の内1 - 3 - 3	1,053	1.93
みずほ信託銀行株式会社	東京都中央区八重洲1 - 2 - 1	1,050	1.92
計		36,413	66.60

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 169,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 54,265,000	54,265	
単元未満株式	普通株式 241,000		
発行済株式総数	54,675,000		
総株主の議決権		54,265	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権1個)含まれている。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式102株が含まれている。

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 京葉瓦斯株式会社	千葉県市川市市川南 2 8 8	169,000		169,000	0.31
計		169,000		169,000	0.31

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりである。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役 (広報部長)	取締役 (広報部長兼情報システム部長)	吉田 洋	平成24年4月1日
取締役 (リビング営業部長兼エネルギー開発部長)	取締役 (営業企画部長兼エネルギー開発部長)	丸山 京治	平成24年4月1日
取締役 (供給企画部長)	取締役 (供給企画部長兼導管部長)	山崎 克美	平成24年4月1日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）及び「ガス事業会計規則」（昭和29年通商産業省令第15号）に基づいて作成している。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年1月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人青柳会計事務所による四半期レビューを受けている。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	779	722
供給設備	43,477	42,046
業務設備	9,018	10,881
その他の設備	9,085	8,865
建設仮勘定	1,878	641
有形固定資産合計	64,239	63,157
無形固定資産		
その他	2,599	2,285
無形固定資産合計	2,599	2,285
投資その他の資産		
投資有価証券	6,426	6,644
その他	4,823	4,572
貸倒引当金	20	20
投資その他の資産合計	11,229	11,196
固定資産合計	78,068	76,638
流動資産		
現金及び預金	6,172	11,750
受取手形及び売掛金	6,784 ₁	5,945 ₁
有価証券	228	265
商品及び製品	25	26
仕掛品	823	439
原材料及び貯蔵品	454	483
その他	1,111	902
貸倒引当金	49	48
流動資産合計	15,551	19,765
資産合計	93,619	96,403

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
固定負債		
長期借入金	14,511	14,193
退職給付引当金	7,198	7,197
役員退職慰労引当金	359	393
ガスホルダー修繕引当金	448	491
固定資産除却損失引当金	393	393
その他	1,146	1,130
固定負債合計	24,057	23,799
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	3,315	3,164
支払手形及び買掛金	4,760	3,233
未払法人税等	383	2,487
その他	10,024	9,168
流動負債合計	18,485	18,053
負債合計	42,542	41,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,754	2,754
資本剰余金	36	36
利益剰余金	47,314	50,381
自己株式	228	229
株主資本合計	49,876	52,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	413	115
その他の包括利益累計額合計	413	115
少数株主持分	1,614	1,722
純資産合計	51,076	54,550
負債純資産合計	93,619	96,403

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1 44,835	1 51,948
売上原価	22,686	28,921
売上総利益	22,148	23,027
供給販売費及び一般管理費	2 17,009	2 17,482
営業利益	5,139	5,544
営業外収益		
受取利息	11	8
受取配当金	57	72
受取賃貸料	76	77
持分法による投資利益	6	36
雑収入	34	26
営業外収益合計	186	222
営業外費用		
支払利息	144	130
天候デリバティブ損失	65	-
有価証券償還損	-	38
雑支出	9	10
営業外費用合計	220	179
経常利益	5,106	5,587
特別損失		
災害による損失	1,367	-
投資有価証券評価損	591	-
特別損失合計	1,959	-
税金等調整前四半期純利益	3,147	5,587
法人税等	1,276	2,182
少数株主損益調整前四半期純利益	1,870	3,404
少数株主利益	109	92
四半期純利益	1,761	3,312

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,870	3,404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	257	316
持分法適用会社に対する持分相当額	29	5
その他の包括利益合計	286	321
四半期包括利益	2,157	3,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,053	3,611
少数株主に係る四半期包括利益	103	115

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,147	5,587
減価償却費	4,546	4,580
退職給付引当金の増減額（は減少）	69	1
受取利息及び受取配当金	68	81
支払利息	144	130
持分法による投資損益（は益）	6	36
売上債権の増減額（は増加）	679	839
たな卸資産の増減額（は増加）	61	354
仕入債務の増減額（は減少）	753	1,526
未払金及び未払費用の増減額（は減少）	1,517	615
その他	1,138	83
小計	10,212	10,544
利息及び配当金の受取額	74	86
利息の支払額	150	132
法人税等の支払額	422	147
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,713	10,351
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	401	101
有形及び無形固定資産の取得による支出	4,506	4,263
有価証券の償還による収入	100	205
その他	237	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,046	4,133
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	1,000
長期借入金の返済による支出	1,618	1,469
配当金の支払額	272	245
少数株主への配当金の支払額	7	7
その他	41	19
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,939	740
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	2,727	5,476
現金及び現金同等物の期首残高	5,821	4,327
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,549	9,803

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日至平成24年6月30日)	
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日至平成24年6月30日)	
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用している。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
1 連結会計年度末日満期手形の会計処理は、手形交換日をもって決済している。従って当連結会計年度末日は金融機関の休日の為、次のとおり連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれている。	1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理は、手形交換日をもって決済している。従って当第2四半期連結会計期間末日は金融機関の休日の為、次のとおり四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれている。
受取手形 10百万円	受取手形 10百万円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日至平成24年6月30日)
1 当社グループの売上高は、ガス事業のウェイトが高いため、冬季(1~3月)に多く計上されるという季節的変動がある。	1 当社グループの売上高は、ガス事業のウェイトが高いため、冬季(1~3月)に多く計上されるという季節的変動がある。
2 供給販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりである。	2 供給販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりである。
退職給付引当金引当額 347百万円	退職給付引当金引当額 371百万円
役員退職慰労引当金引当額 26百万円	役員退職慰労引当金引当額 34百万円
ガスホルダー修繕引当金引当額 35百万円	ガスホルダー修繕引当金引当額 42百万円
減価償却費 4,268百万円	減価償却費 4,313百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係		1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
現金及び預金	10,381百万円	現金及び預金	11,750百万円
投資その他の資産の「その他」に計上されている長期性預金	300	投資その他の資産の「その他」に計上されている長期性預金	200
計	10,681	計	11,950
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	2,131	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	2,147
現金及び現金同等物	8,549	現金及び現金同等物	9,803

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年3月29日 定時株主総会	普通株式	272	5.00	平成22年12月31日	平成23年3月30日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年7月29日 取締役会	普通株式	245	4.50	平成23年6月30日	平成23年8月24日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月28日 定時株主総会	普通株式	245	4.50	平成23年12月31日	平成24年3月29日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年7月31日 取締役会	普通株式	245	4.50	平成24年6月30日	平成24年8月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ガス	不動産	計				
売上高							
外部顧客への売上高	40,129	483	40,612	4,222	44,835		44,835
セグメント間の内部 売上高又は振替高		191	191	538	730	730	
計	40,129	675	40,804	4,760	45,565	730	44,835
セグメント利益	6,528	283	6,812	126	6,938	1,798	5,139

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガス工事、ガス機器の販売、検針受託等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額 1,798百万円には、セグメント間取引消去0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 1,798百万円が含まれている。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ガス	不動産	計				
売上高							
外部顧客への売上高	45,615	493	46,108	5,840	51,948		51,948
セグメント間の内部 売上高又は振替高		193	193	537	731	731	
計	45,615	687	46,302	6,378	52,680	731	51,948
セグメント利益	6,968	341	7,310	200	7,510	1,965	5,544

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガス工事、ガス機器の販売、検針受託等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額 1,965百万円には、セグメント間取引消去24百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 1,990百万円が含まれている。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	32円82銭	61円72銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,761	3,312
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,761	3,312
普通株式の期中平均株式数(株)	53,666,870	53,663,338

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

(重要な後発事象)

該当事項なし。

2 【その他】

第128期中間配当についての決議

- 1 取締役会開催日 平成24年7月31日
- 2 配当金の総額 245百万円
- 3 1株当たり金額 4円50銭
- 4 支払請求権の効力発生日 平成24年8月28日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8 月 8 日

京葉瓦斯株式会社
取締役会 御中

監査法人青柳会計事務所

代表社員
業務執行社員 公認会計士 井 上 靖 秀 印

業務執行社員 公認会計士 武 藤 紀 夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている京葉瓦斯株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年1月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、京葉瓦斯株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管している。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていない。